

www.jica.go.jp/peru

JICAは様々な分野で
PERUの経済社会開発
に貢献しています!!!

無償資金協力

これまで合計約670億円規模の無償資金協力（ペルー政府に対する返済義務の無い資金供与）を通じて、社会・産業基盤整備や科学・文化振興を支援してきました。例えばペルーとエクアドルの国境地域での新マカラ国際橋の建設、リマの国立障害者リハビリテーションセンターの建設、チャビン・デ・ワンタル遺跡に隣接するチャビン国立博物館の建設など、様々な分野で無償資金協力を展開しています。

ボランティア派遣

1980年より派遣が始まり、累計約500名のボランティアが派遣されています。約50名のボランティアが、環境教育、コミュニティ開発、職業訓練、スポーツ指導、社会福祉支援などの分野で活動しています。ペルーの人々と共に汗を流すJICAボランティアたちの活躍は二つの国を結ぶ架け橋として高く評価されており、さらなる派遣を求められ続けています。2017年9月現在

技術協力

1958年以降、これまで合計約580億円の技術協力（約7千人のペルー人の日本での研修や日本人専門家のペルーへの派遣）を通じて、ペルーの人材育成や日本からのペルーへの技術移転に貢献しています。近年では、世界4位の熱帯林面積を誇るペルーの森林保全、北部観光地カハマルカ州での農民の所得向上、第二のマチュピチュと見られるクエツツプ遺跡のあるアマナス州の観光開発など、様々な分野で技術協力を展開しています。

有償資金協力

これまで合計4400億円規模の円借款（ペルー政府へのJICAを通じた貸付）を通じて、ペルーの経済社会インフラの整備を支援してきました。例えばマチュピチュの玄閣ロクスコの下方埋埋溝、アマソンの森の奥の集落の電化、アンデス山岳部での農業用の灌漑整備など、ペルー各地で日本の支援が役立っています。

1.事務所概要

沿革

1958	我が国ODAによるペルー協力開始:研修員受入(冶金)
1973	ペルー円借款開始
1977	ペルーJICA事務所設置 (旧OECE南米地域事務所設置)
1979.8月	技術協力協定署名締結 / 青年海外協力隊派遣取極締結
1991.7月	全専門家・協力隊員派遣中断(引き上げ)
1995.12月	長期専門家派遣再開
1999.10月	JBICリマ事務所設置
2004.5月	シニアボランティア派遣開始
2007.3月	青年海外協力隊員派遣再開
2008.10月	JBICリマ事務所と統合
2018	我が国対ペルーODA60周年

事務所所在地

【住所】

Av. Canaval Moreyra No 380, Piso 21, San Isidro.

Edif Torre Siglo XXI

Lima Perú

【郵便宛先】

Oficina Residente Representativa de JICA

Apartado Postal 18-0261、Lima 18 Peru

電話: +51-1-221-2433

Fax: +51-1-221-2407

E-mail: pe_oso_rep@jica.go.jp

2.ペルーにおける協力実績

(1) 近年の我が国のODA実績

(単位:億円)

	技術協力	無償資金協力	有償資金協力
2014年	13.07	1.94	94.24
2015年	12.13	5.93	-
2016年	10.20	2.39	-
累計	585.31	670.88	4,439.38

出典:外務省国別データブック(2017年)

注:

- 年度(4~3月)
- 技術協力はJICA経費ベース
- 無償金協力、有償資金協力は交換公文ベース

(2) JICA事業実績

	2017年度実績	2017年度までの累計
研修員受入(人)	93	7,209
専門家派遣(人)	28	1,423
調査団派遣(人)	31	2,787
協力隊派遣(人)	30	431
他ボランティア(人)	2	51
機材供与費(百万円)	884.5	6,929.60
技術協力実績額(億円)	10.2	567.68

出典:国際協力機構事業実績統計

2017年度実績は、新規派遣人数に該当。

(3) 2019.6月現在実施中案件

(技プロはR/D締結前案件含む、有償は貸付実行中案件、無償は調査採択通報案件含む、中小企業海外展開支援はM/M締結前含む)

技術協力プロジェクト	3案件
有償資金協力プロジェクト(L/A数)	7案件
無償資金協力プロジェクト	2案件
中小企業海外展開支援事業	5件
派遣中長期専門家	1名
短期専門家	2名
課題別研修(青年研修2コース含む)	30コース(32名)
青年海外協力隊(カッコ内シニアボランティア)	49名(5名)

3.ペルーにおける日本の協力量針

援助基本方針:持続的経済発展への貢献

★不十分な経済社会インフラの整備/農業や社会開発分野の支援を通じた格差是正

★環境及び防災分野への支援を通じ、持続的な発展を阻害する要因を取り除く




【留意事項】

★我が国の知見、技術を生かしたオール。ジャパンの支援 ★日系人社会との連携

★三角協力への支援 ★人材育成に貢献する技術協力の拡充

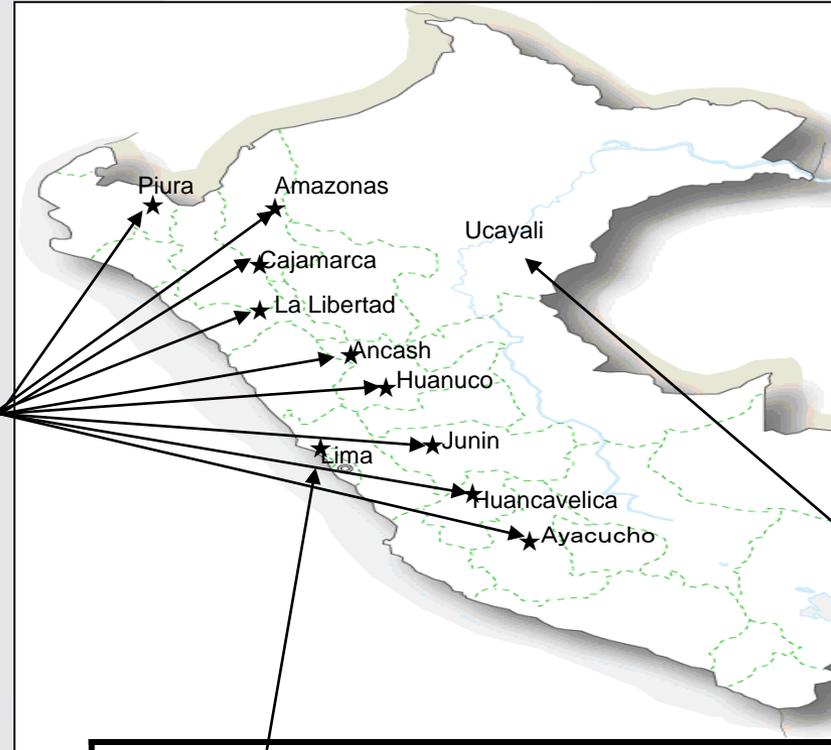
4. 案件／ボランティア 配置図(実施/準備中案件)

地方農村部生産性改善プログラム



<ペルー山岳地域>
 (円借款)山岳地域小中規模灌漑整備事業
 (2012.3~)
 実施機関:農業省・地方農業生産開発プログラム(AGRORURAL)

【事業概要】
 ペルー山岳地域9州において、小中規模な灌漑施設の新設・改修及び水管理のための組織強化を行うことにより、農業生産の増大を図り、もって地域住民の生活水準の向上を図る。



<ウカヤリ州>
 (中小企業海外展開支援事業)
 植物性高たんぱくミルクの製造開発とフェアトレードバリューチェーン構築に係る基礎調査
 (2018.2~2019.6)
 実施機関:
 (日本)株式会社アルコイリスカンパニー
 (ペルー)エコ・アマゾン社

【事業概要】
 ペルーにおける植物性高たんぱくミルクの製造開発及びフェアトレードバリューチェーン構築の事業計画策定にかかる調査。農村部の貧困と栄養不足に対し、インカ伝統の食材を低コストの超微粉碎技術で加工。植物性高たんぱく粉乳の販売を通じ、小規模生産者の市場アクセスの担保とたんぱく質不足の緩和を目指す。

ボランティア
 コミュニティ開発、マーケティング

<課題別研修>
 農業開発・農村開発分野 : 2コース

<リマ(ワラル)>
 (中小企業海外展開支援事業) 乾燥地節水型農業技術普及・実証事業
 (2018.3.~2021.10)
 実施機関:(日本)株式会社鳥取再資源化研究所
 (ペルー)農業省、国立農業研究所(INIA)

【事業概要】
 廃ガラスのリサイクル製品である「ポーラスα」を土壌改良材として活用し、当国の乾燥地農業地帯における水不足への貢献を目指す。

ソーシャルセーフティネット支援



<課題別研修>

社会保障分野 : 1コース

保健医療分野 : 2コース

教育分野 : 2コース

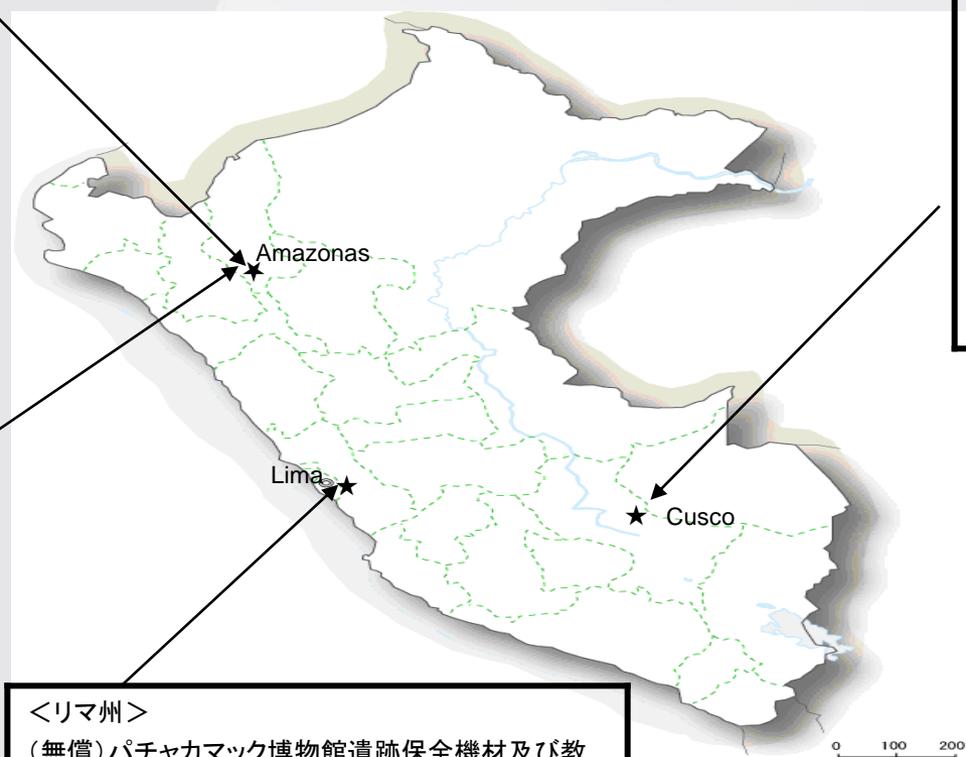
ガバナンス分野(法・司法):2コース

ボランティア

ソーシャルセーフティネット支援(理学/作業療法士、障害児・者支援、栄養士、青少年活動、スポーツ等)

4. 案件／ボランティア 配置図(実施/準備中案件)

経済社会基盤整備(1)



<クスコ>
 (無償) マチュ・ピチュ歴史保護区ビジターセンター機材整備計画
 (協力準備調査実施、2019年2月閣議)
 実施機関:文化省

【事業概要】
 マチュ・ピチュ歴史保護区インカ道トレッキングルートの入り口に位置するビジターセンターにおいて、観光客の自然・文化資源保護啓発に必要な常設展示のための機材を供与する。

<アマソナス州>
 (技プロ)ウトウクバンバ渓谷上流地域における文化的景観の持続的な開発促進プロジェクト
 (2019.2～2023.2)
 実施機関:文化省、アマソナス州政府

【事業概要】ウトウクバンバ渓谷上流地域において、コミュニティとともに当該地域の文化的景観の価値を再認識し、エコミュージアム構想に基づく持続的な地域開発モデルを構築文化的景観に配慮した地元住民が主体となる観光開発モデルを構築する。

<アマソナス州>
 (円借款)アマソナス州地域開発事業
 (2013.1～)
 実施機関:アマソナス州政府

【事業概要】
 アマソナス州ウトウクバンバ渓谷において、観光振興(観光資源・施設整備、観光行政能力強化、コミュニティ開発)、及び基礎インフラ整備(道路整備、廃棄物処分場建設)を行うことにより、地域開発基盤の整備を図り、もって総合的な地域経済開発及び地域住民の生活水準の向上に寄与する。

<リマ州>
 (無償)パチャカマック博物館遺跡保全機材及び教育機材整備計画
 (2017.3 G/A締結)
 実施機関:文化省

【事業概要】
 文化省所管パチャカマック遺跡サイト博物館に対し、パチャカマック遺跡における発掘物・収蔵物保全、遺跡建造物保全及び周辺コミュニティー等への啓発活動のための機材を整備する

ボランティア
 博物館・文化財保護関連、観光

4. 案件／ボランティア 配置図(実施/準備中案件)

経済社会基盤整備(2)

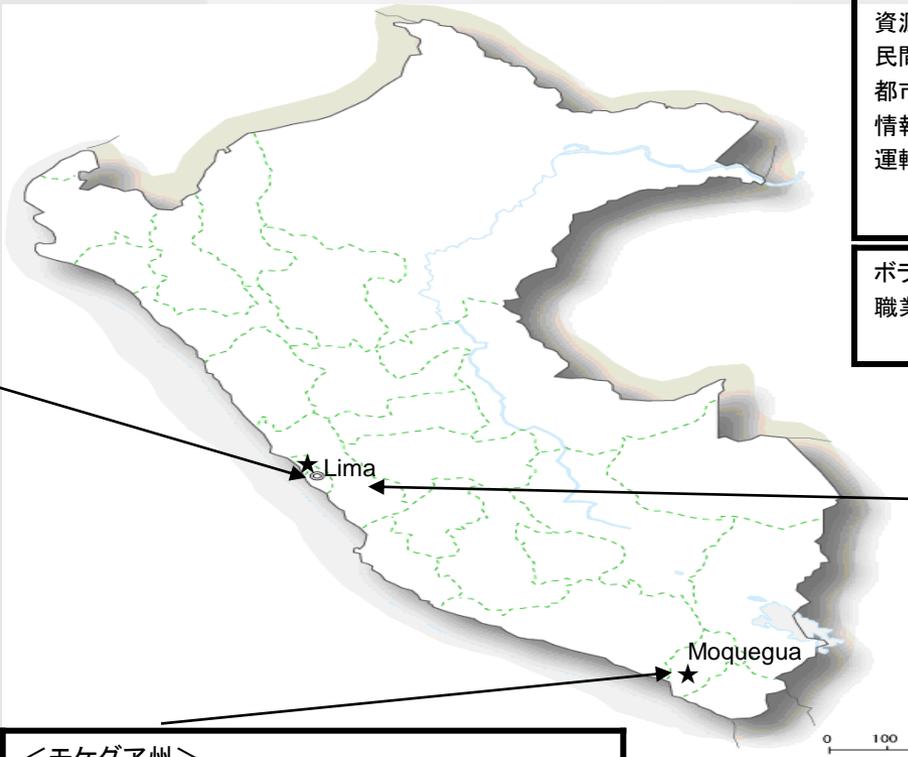


<課題別研修>
 経済政策分野 : 1コース
 資源・エネルギー分野 : 1コース
 民間セクター開発分野 : 3コース
 都市開発・地域開発分野 : 1コース
 情報通信技術分野 : 1コース
 運輸・交通分野 : 1コース

ボランティア
 職業訓練支援

<リマ、その他重点地熱開発地区>
 (技プロ)地熱資源評価能力強化
 (2019.9～2022.2予定)
 実施機関:エネルギー鉱山省

【事業概要】
 鉱業冶金地質研究所(INGEMET)の地熱資源探査能力を向上し、ペルーの地熱資源開発と発展を図る。



<リマ及び全土>
 (中小企業海外展開支援事業)
 マイクロ投資クラウドファンディングを活用した地場中小零細企業支援案件化調査
 (2018.10～2019.9)
 実施機関:
 (日本)ミュージックセキュリティ株式会社
 (ペルー)ABACO信用組合

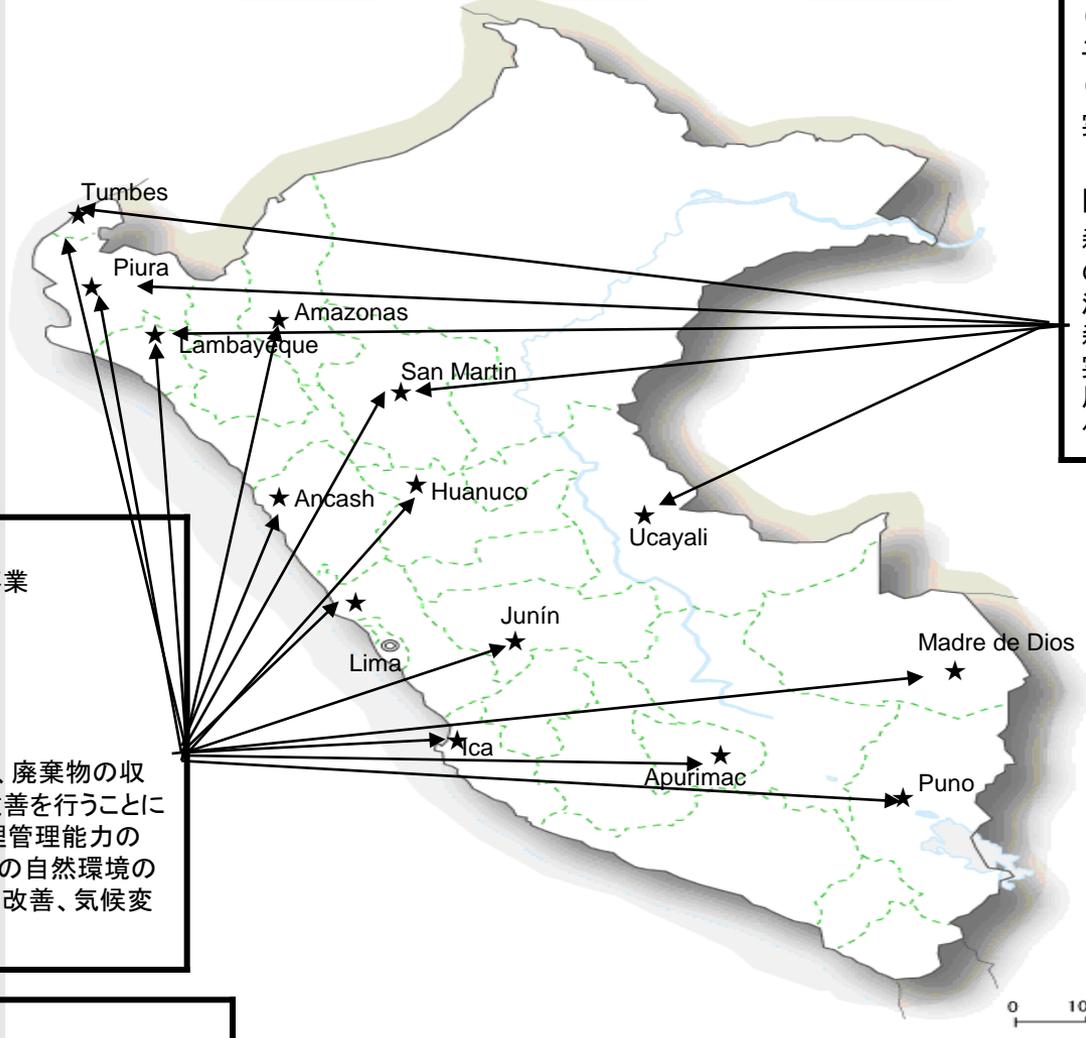
【事業概要】
 マイクロ投資クラウドファンディングを通じ、ペルーの経済社会開発に役立つ商品や技術を持つ中小企業等を発掘するとともに、これら中小企業等によるペルーへのビジネス展開、日系人及び日系人が経営する企業等との連携・協力を図る。

<モケグア州>
 (円借款)モケグア水力発電所整備事業
 (2014.11 ～)
 実施機関:南部発電公社

【事業概要】ペルー南部モケグア州において、水力発電所及び関連施設を整備することにより、同地域の安定的な電力供給に貢献するとともに、電源構成の多様化促進及び気候変動緩和に寄与する。

4.案件／ボランティア 配置図(実施/準備中案件)

環境改善促進(1)



<ランパイエケ州、サン・マルティン州、ウカヤリ州、ピウラ州、トゥンベス州>
 (技プロ)森林の持続的 management と REDD+メカニズム能力強化
 (2016.3~2020.3)
 実施機関:環境省、農業省

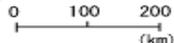
【事業概要】
 森林保全及び REDD+に関する行政機能の改善、衛星技術の活用技術の改善(違法伐採の早期警戒システム構築など)、森林保全に係るパイロットプロジェクトの実施を通じた、環境省及び農業省担当部局の森林保全及び REDD+に係る能力強化を図る。

<13州>
 (円借款)固形廃棄物処理事業
 (201210.~)
 実施機関:環境省

【事業概要】
 23地方都市を対象において、廃棄物の収集・最終処理体制の整備・改善を行うことにより、廃棄物の統合的な処理管理能力の向上を図り、もって対象地域の自然環境の改善及び住民の生活環境の改善、気候変動の緩和に寄与する。

<課題別研修>
 自然環境保全分野 : 2コース
 環境管理分野 : 3コース

ボランティア
 環境教育



上下水道整備



<リマ及び全国>

(フォローアップ)上下水道公社無収水管理
能力強化プロジェクトF/U

2018年12月～2019年度

実施機関:リマ上下水道公社
(SEDAPAL)

【事業概要】

2012-2015年度実施技プロの成果を踏
まえ、SEDAPALの無収水削減技術、運
営方法を国内の水道事業体に対し普及
する協力。

<リマ首都圏>

(円借款)リマ首都圏周辺居住域衛生改善事
業(II)

(2013.1.～)

実施機関:SEDAPAL

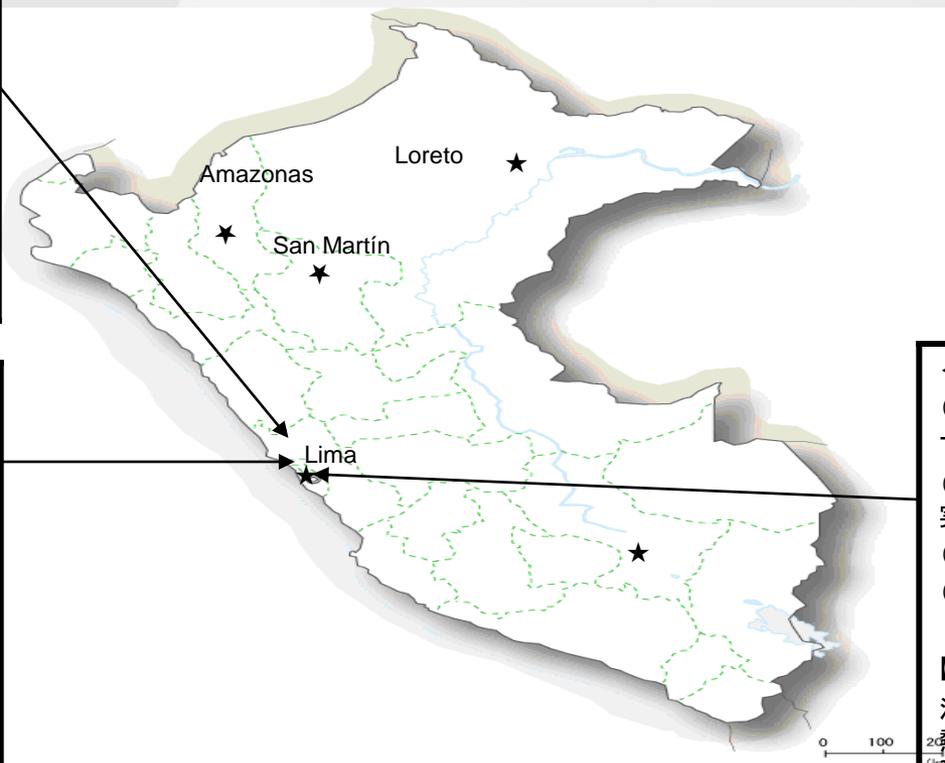
【事業概要】

ワチパ浄水場の給水対象地域に位置するリ
マ首都圏北部6地区において、
上下水道システムの最適化を行うことにより、
上下水道サービスの改善を図り、もって同地
域の衛生環境の改善に寄与するものである。
世界銀行・ドイツ復興金融公庫(KfW)との協
調融資。

<課題別研修>

環境管理分野(水質管理) : 1コース

水資源・防災分野(都市給水) : 3コース



<リマ>

(中小企業海外展開支援事業)

下水処理場有機汚泥の乾燥処理・燃料化
(2018.10～2020.10)

実施機関:

(日本)㈱アースコーポレーション

(ペルー)SEDAPAL

【事業概要】

汚泥乾燥処理施設を導入し、乾燥汚泥の
熱源や肥料原料としての活用可能性を検
証する。もって、衛生的な有機汚泥処理シ
ステムの普及と汚泥燃料エネルギー活用
の促進を図る。

防災行政強化



<全土>
 (円借款)災害復旧スタンド・バイ借款
 (2014.3.～)
 実施機関:経済財政省

【事業概要】
 災害リスク管理能力向上に係る政策アクションの実施促進を図るとともに、災害発生時の復旧のために必要な緊急資金を確保し、災害発生後の迅速な復旧を支援する。

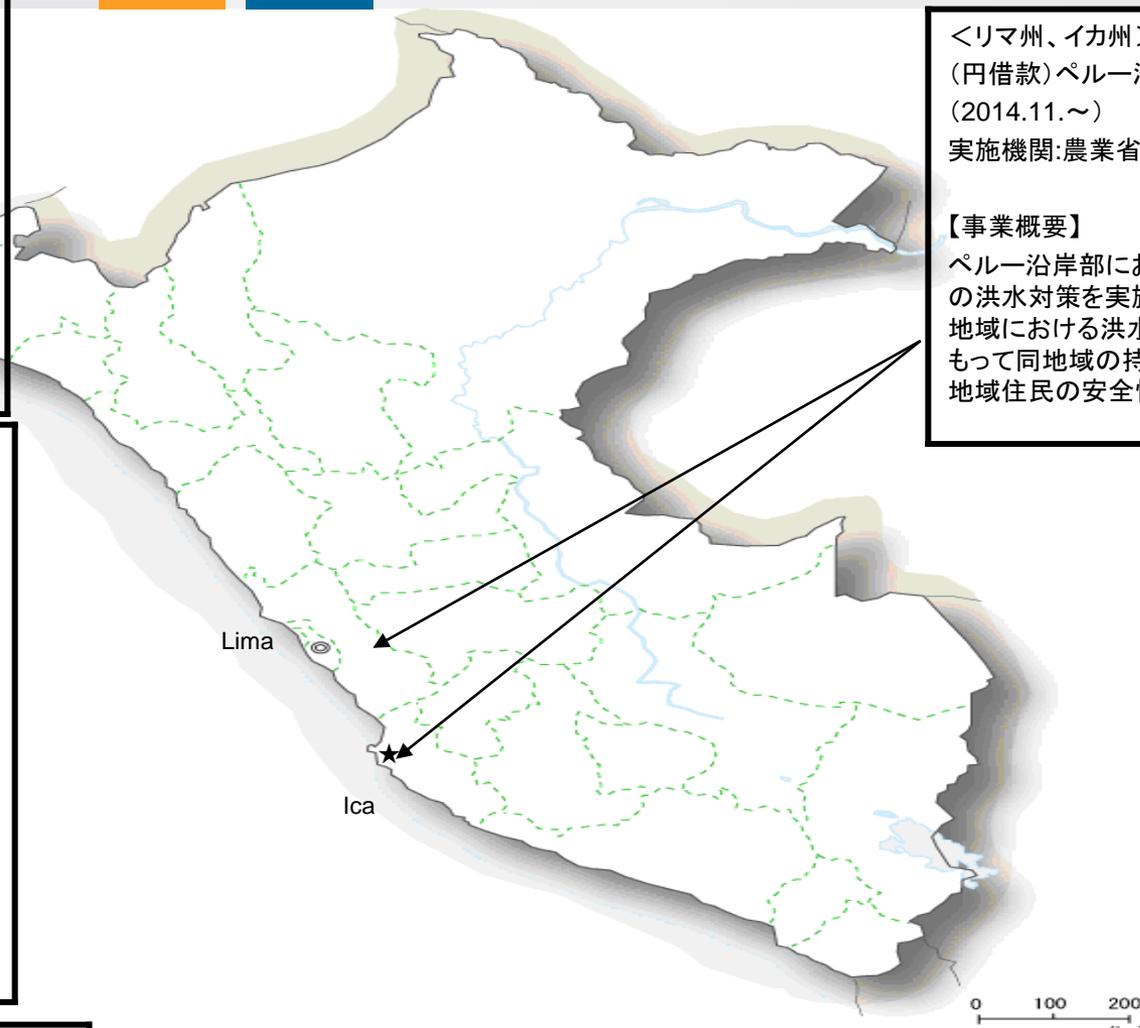
<リマ>
 (中小企業海外展開支援事業)
 日本式早期地震検知システムによる防災対策のための案件化調査
 (2019.1～2020.2)
 実施機関:
 (日本)レキオソフト株式会社
 (ペルー)日本・ペルー地震防災センター(CISMID)、地球物理庁(IGP)、市民防衛庁(INDECI)

【事業概要】
 地震国ペルーにおいて、早期地震警報の配信を高速化、人命被害の低減を図るため、日本方式の早期地震検知システム導入可能性について調査を行う。

<課題別研修>
 防災分野 : 4コース

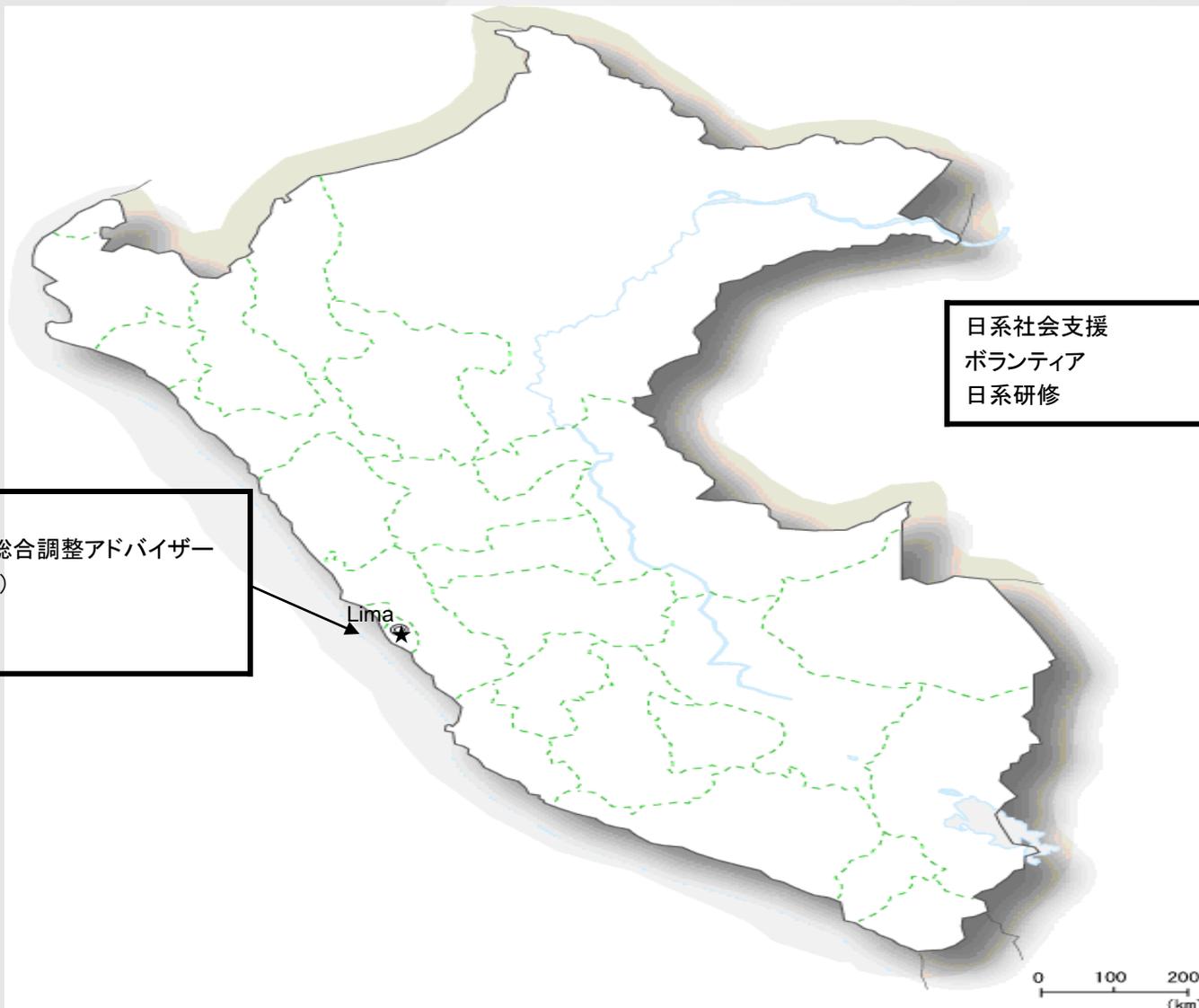
<リマ州、イカ州>
 (円借款)ペルー沿岸部洪水対策事業
 (2014.11.～)
 実施機関:農業省

【事業概要】
 ペルー沿岸部において、河川改修などの洪水対策を実施することにより、対象地域における洪水リスクの軽減を図り、もって同地域の持続的な経済開発及び地域住民の安全性の確保に寄与する。



4. 案件／ボランティア 配置図(実施/準備中案件)

その他



<リマ首都圏>
個別専門家 円借款総合調整アドバイザー
(2016.11～2018.11)
配属先:経済財政省

日系社会支援
ボランティア
日系研修